

放送大学通信

on air

オン・エア

no.
68

発行日 平成14年12月10日

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地 043-276-5111(代)

CONTENTS

地球環境問題とジェンダー 教授 原ひろ子	1
放送大学フェア 第14回全国生涯学習フェスティバル	3
遠隔教育の必要性を痛感した3日間 教授 柏倉康夫	4
平成15年度大学院単位認定試験時間割	6
平成15年度教養学部単位認定試験時間割	7
平成15年度開設改訂科目一覧	11
平成15年度教養学部開設科目紹介	15
平成15年度第1学期学生募集	16

地球環境問題とジェンダー

— WSSDにNGOとして参加して —

生活と福祉 教授 原 ひろ子



8月26日、サントン国際会議場で主要グループ8分野のNGO代表により政府間会議の動向に関する報告会が9月4日まで毎朝開かれた。

はじめに

新聞、TV、インターネットなどでご承知の方も多いと思いますが、今年8月26日から9月4日にかけて南アフリカのヨハネスブルグで持続可能な開発に関する世界首脳会議（World Summit on Sustainable Development, WSSD）

が開催されました。国連加盟の政府間で「実施計画」と「ヨハネスブルグ宣言」の内容について討議が行われ、191ヶ国から2万1000人以上の人が公式会議に参加しました。非政府組織の中で主要グループ（Major Groups）といわれる9種の登録団体が連合体を形成し、国連および主催国である南アフリカ共和国と政

府間会議での発言・傍聴や、会議場への入場人数についての折衝を行っていました。これらの主要グループ・メンバーとして認定された人びとも数千人といわれますが、はっきりした数は不明です。市内の数ヶ所で併催された市民フォーラムなどの参加者は、数えきれないほどに更に多かったとのこと。



9月3日、日本の外務省が設置した「NGO連絡室」で日本から参加したNGOの人びとが記者会見した。筆者は「女性グループ」を代表して報告。首にかけているのは、特定の会場に入るためのカード2枚。

丹保学長も参加

放送大学の丹保憲仁学長は「科学者」という主要グループの代表として、国際水協会（International Water Association, 世界120ヶ国・地域、会員7,000人）会長の立場で、「世界の水（と食料）」に関するWSSDのウォータードーム（Water Dome）という会場での展示やイベントでの講演のために参加していました。さらに、2003年春に京都で開催される予定の第3回世界水フォーラムの組織委員会の一員としての任務や、世界銀行、アジア開発銀行、ヨーロッパ連合などの「水グループと水資源と水供給について」の意見交換などの日程をこなされたようです。水問題は、地球規模の大問題なのです。

さて、WSSDでは主要グループの一つに「女性」というグループが設置されています。私は北九州市にある財団法人アジア女性交流研究フォーラムという国連経済社会理事会に登録しているNGOの一員として、8月26日から9月3日まで参加し、主として、「女性」グループの中で地球環境問題を考え、論じあう日々を過ごしました。その間、一度も丹保学長とすれちがうこともないという巨大な会議だったのです。

持続可能な地球環境と人類社会の開発・発展

この会議の由来ですが、1972年にスウェーデンのストックホルムで国連人間環境会議が開催されました。その後、1982年にケニアのナイロビで国連環境計画

（UNEP）特別理事会が開かれ、1987年には、グロ・ブルントラント・ノルウェー首相（現国連WHO事務局長）などが中心となって作成された報告書「我ら共通の未来（Our Common Future）」が発表され、人類の課題として「持続可能な開発」が地球環境問題のキーワードであるとされました。それに基づき1992年には、ブラジルのリオデジャネイロで国連環境開発会議（UNCED）が開かれ、地球規模での環境問題にどのように対応すべきかが話し合われ、「アジェンダ21」が採択されました。その第24章は女性の問題をテーマとしています。

そして1993年には、国連に持続可能な開発委員会が設置され、今回のWSSDの準備が進められ、その間にも各国政府の間で、大気汚染に関する「京都議定書」の作成や、第1回および第2回の世界水会議の開催などをはじめ、多様な課題に関する国連の会合が重ねられています。歌手の加藤登紀子さんは、国連環境計画親善大使として、世界中をかけめぐり、WSSDにも参加していたとのことですが、現地では私は加藤さんにもめぐり合えませんでした。

地球環境問題とジェンダー

大気、水、土壌、森林、農業、食料、災害といった分野は「男の世界」とされ、女性は、環境問題に関するさまざまな意思決定段階に参加していない傾向があります。しかし、1960年ごろから身近な環境としてのゴミ、大気汚染、河川や海の汚染の問題に、世界各地の女性たちが気づき、それぞれ

9月1日、ヨハネスブルグ ソウェト地区ソモホ（希望の丘）で、グロ・ブルントラントWHO事務局長の「健康と環境」についてのスピーチ。



の小さい地域コミュニティの中で、データを集め問題提起をしていった例は数多いのです。北九州市でも主婦たちが1960年代に工場からの煙や廃棄物による汚染で子どもや大人が病気になっていることを憂慮して、毎日、一時間毎の空気の汚染を調べる定点観測を行いました。その資料を行政に示し、市議会や企業の理解を求め、とうとう環境に関する条例の決議と企業側の環境にやさしい技術革新へのきっかけを作ったのです。

開発途上国においても、インドのチプコ・ムーブメントのように女性たちが身を賭して環境問題に取り組んでいます。さらに、都市化の進行の中で、村に残る女性たちが、森や畑や家畜や水を守っているという状況が世界各地に見られます。

そこで「男性の視点や知識・経験と女性の視点や知識・経験を対等な土俵の上に置いて、村や町や、



8月28日、NGOイベント会場のナズレックで、韓国女性環境ネットワークと北東アジア女性環境ネットワークおよび日本の財団法人アジア女性交流研究フォーラムが共催したワークショップ。最後に輪になった人びとが歌いながら糸の玉を投げあい、地球環境と私たちがつながり合っていることを確認した。

国や、地域（アジアとかアフリカとかの）や、地球全体の未来に關しての意思決定や方針決定を行っていきましょう」というのが、WSSDでの「女性」という主要グループの基本的姿勢です。その主張に基づいて、今後の地球規模での「実施計画」その他の場面での討論や意見の表明を行いました。

地球上の多様な状況や立場にある人びとが、現在と未来の世代のすべての人類や地球環境に対して、責任をもつ必要と、具体的な実践の重要性を、再確認する会議でした。

（写真はいずれも財団法人アジア女性交流研究フォーラム提供）

放送大学フェア

第14回全国生涯学習フェスティバル



放送大学ブースでは、「放送大学紹介コーナー」としてCSを利用した全国放送や授業科目、学習システムなどの放送大学の特徴をパネルや大学紹介ビデオの放映などでわかりやすく紹介しました。学旗に加え、全履修生がめざす学位記の見本や、教材などもここに展示

されました。

実際の履修や出願方法、学習計画や費用、授業の視聴方法など様々な相談に応じるご相談コーナーも設け、多くの方にご利用いただきました。

附属図書館コレクション展では、「暮らしの中の幕末・明治 - 古写真とちりめん本 - 」と題して、我が国に本格的な写真技術をもたらしたF.ベアトラ揺籃期の写真師による古写真のパネルと、外国語に翻訳された日本昔噺の多色木版刷絵本で、縮緬布のような風合いを持たせた和紙で作られたちりめん本が展示されました。古写真からは近代日本形成期の人々の生き活きとした暮らしぶりが窺われ、また、「桃太郎」「舌切雀」などの昔噺をはじめ、小泉八雲による怪奇的な民話の絵本や、冊子・短冊型など多種多彩で美しく手の込んだ作りの暦・カレンダーなど、明治期に海外へ輸出され日本の文化や風俗を広く世界に紹介した「ちりめん本」は来場者の関心を集め、放送大学ブースで配布された美しい仕上がりのパンフレット・しおりとあわせて好評を博しました。

さらに放送大学ならではの企画として、「ミニスタジオ」を開設しました。これは、ビデオカメラによる撮影など製作現場を再現したもので、特殊技術（クロマキー）で背景を合成し、あたかも別

「全国生涯学習フェスティバル まなびピア石川2002」が、10月10日（木）から10月14日（月）までの5日間石川県で開催されました。このフェスティバルは、文部科学省等が、生涯学習への参加推進を目的として、平成元年度から各県持ち回りで開催しており、放送大学も一般市民の方々に大学の特色や学習システムを知ってもらう機会として参加、出展しております。

今年は、金沢市を含む6市に会場を設け、講演会・シンポジウム等の多彩な催しが展開され、生涯学習見本市の会場となった石川県産業展示館に出展した「放送大学フェア」には多くの方々が来場し、放送大学をさらに身近に体感していただくことができました。



「東海道小田原」（F.ベアト撮影）



左：ちりめん本 小泉八雲「ちんちん小袴」
右：ちりめん本「風嫁入」

の空間にいるような映像を記念写真としてプレゼントさせていただきました。

また野々市町の文化会館フォルテでは、「こころ対談 現代のこころ、学ぶこころ」と題して放送大学公開講演会が行われました。この企画は、こころ対談という親しみやすいかたちをとりながら、会場からの発言も交えて「豊かなこころ」とは何かを探究し、みなさまとともに考えていこうとする新しい試みでした。多田治夫（前放送大学石川学習センター所長・金沢大学名誉教授）、藤島秀隆（放送大学客員教授・金沢工業大学教授）の両先生に対談していただき、放送大学の学生さんを含む多くの人々が集まり、大変有意義な時間となりました。

今回のフェスティバルは天候にも恵まれ、会期5日間を通じて放送大学フェアに多くの方々が訪れてくださり、大盛況のうちに幕を閉じました。



なお、次回の第15回全国生涯学習フェスティバルは、沖縄県で平成15年11月27日（木）～12月1日（月）まで開催される予定です。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

遠隔教育の必要性を痛感した3日間

2002年ICDE - SCOP (国際遠隔教育機関長会議) 報告

産業と技術 教授 柏倉康夫

去る10月20日から10月22日まで、南アフリカのプレトリアにある南アフリカ大学で“Transformational Leadership: Innovating Strategic Futures for Globalised Distance and Virtual Learning”(変貌する指導者の任務: 地球規模に拡大した遠隔・ヴァーチャル学習の未来をいかに戦略的に革新するか)をテーマに、2002年国際遠隔教育機関長会議が開かれた。

南アフリカでの開催

10月の南アフリカはジャカラ
ンダの季節である。ジャカラ
ンダは熱帯や亜熱帯に分布する常緑樹
で、初夏から晩夏にかけて美しい
紫色の花をつける。南アフリカの
首都プレトリアでは、街路のいた
るところにジャカランダが植えら
れていて、遠望すると街は薄紫色
に煙っていた。

ICDE (International Council for
Open and Distance Education: 公
開および遠隔教育国際評議会) は
ユネスコの非政府団体 (NGO)
の一つで、遠隔教育に関する情報
の交換やその振興をはかるための
国際学会として1938年に設立さ
れた。今日、参加している大学は
140か国にまたがり、毎年、世界
大会と機関長会議を交互に開催し
ている。放送大学は2000年1月
からメンバーとなり、毎年会議に
参加して交流の実績をつみ、貴重
な情報を得てきた。今回の機関長
会議には高橋和夫助教授、岡本正
制作部長、田口晶子教務部修学指
導課修学情報係長、それに筆者の
4名が参加した。

ICDEの会議が南アフリカで開
かれたのには大きな意味がある。
会場を提供し、会議を主催した南
アフリカ大学 (UNISA: University
of South Africa) は南部アフリカ
最古の大学で、創設は1873年に
さかのぼる。喜望峰大学の名称で
スタートした大学は、1916年に
複数の学部を統合して大学名を南

アフリカ大学と改め、本拠地をプ
レトリアに移した。そして1946
年には、距離的に通学が不可能な
白人の学生たちに向けて郵便によ
る授業を開始し、高等遠隔教育の
先駆的な存在となったのである。
その後は少数民族や女性など差別
をうけていた人たちへも教育の機
会を提供し、マンデラ元大統領が
政治犯としてペロン島に投獄され
ていた間に、UNISAから学位を
与えられたのはよく知られてい
る。1994年の革命によって南ア
フリカはアパルトヘイト (人種隔
離政策) を放棄し、新しい国に生
まれ変わったが、この民主化運動
にたずさわった人材の多くが
UNISAで教育を受けた人たちで
あった。

会議の初日に基調報告を行った
UNISAのバーネイ・ピトヤナ副
学長は、「大学教育は人間の尊厳、
平等、人間の諸権利、そして自由
の実現を追求し、それがいかに大
切かを確認するものでなければな
らない」と力説した。その上で副
学長は、情報通信技術の革新の時
代を迎えた今日、e-learning (コ
ンピュータやインターネットを活
用した教育) が主流になるといわ
れるが、アフリカの現実はそのし
た状況には遠く、郵便やラジオが
遠隔教育の主役である。こうした
現状をいかにして克服していく
か、いわゆるデジタル・デバイド
(情報格差) をどう埋めていくか
を、ICDEは今後の課題として取
り組んでほしいと要請した。

中国の現状、その他

今回の会議で目立ったのは中国
各地の大学の参加であった。遠隔
教育で20年の実績をもつ香港公
開大学のほかに、中央廣播電視大
学、湖南廣播電視大学、上海電視
大学、瀋陽市廣播電視大学から20
名をこす人たちがはるばるやって
来た。中国にあって規模の点で最
大なのは中央廣播電視大学で、54
万余の学生をかかえ、地方電視大
44校、分校841校、それに1,768
か所の学習センターをもってい
る。上海電視大学の遠隔教育グル
ープ会長の長徳明教授は、上海で
の公開および遠隔教育の現状につ
いて報告したが、近年における上
海の急速な経済発展が人びとの
「学びたい」欲求を高め、現在8
万人の学生と延べ50万人分の受
講があると説明した。さらに
2001年度の卒業生に対するアン
ケート調査では、卒業した人の25
パーセントが、職場で従来よりも
重要なポストへ移動し、18パー
セントが一段上の肩書を与えられ
たという注目すべき結果が報告さ
れた。そして今では、数千人の入
学希望者が遠隔教育を受けたいと
順番を待っているという。長徳明
教授の発言で心に残ったのは、
「私たちの学生のほとんどが勤労
者であり、この点に十分留意して
教育カリキュラムを組むべきだ」
という件であった。放送大学に着
任し、遠隔・生涯教育にたずさわ
る機会を得た者として、あらため

て考えさせられる言葉だった。

会議ではこの他にもヨーロッパ
遠隔教育大学連合のヘンドリック
ス事務局長、アメリカ・コーネル
大学のサフフィン教授、オースト
ラリアのデーキン大学アンヌ・マ
ーティン副学長などが基調報告を
行い、それぞれの内容について出
席者全員で質疑・討論を行った。
これらを通して強調されたのは、
産業社会から情報化社会への転換
が起こっているなかで、教育シス
テムも変革すべき時期を迎えてい
るという事実である。

教師と学生が面と向かって行う
従来型の教育が一方にあり、他方
には100パーセント・オン・ライ
ンで行う教育があるとすれば、こ
の間にはさまざまなヴァリエーシ
ョンがあり得る。はたして公開お
よび遠隔教育のシステムは、この
間のどこに位置するのがもっとも
効果的なのかについて、それぞれの
経験を持ち寄って、今後ICDE
の場で検討すべきことが確認され
た。この他にも、この新しい教育
のビジネス・モデルをいかに構築
するか、情報へのアクセス手段の
格差をどう解消していくかといっ
た課題が指摘された。

公開および遠隔教育にたずさわ
る世界の大学や教育機関の間で、
今後は「協調と競争」がますます
必要となるに違いない。来年6月
には香港でICDEの第21回世界大
会が開かれる。ここでは「ネット
ワーク世界の生涯学習」をメイ
ン・テーマに発表と討議が予定さ
れている。



南アフリカ大学のオーデトリウムでは基調講演と討論が行われた。



ジム・テイラーICDE代表(右端)を中心とした議長団。



放送大学からは岡本(前列左) 筆者、高橋(後列左) 田口の各氏が出席した。

平成15年度大学院単位認定試験時間割

(第1学期)

	平成15年8月1日(金)	平成15年8月2日(土)
1 9:15 }	総合情報学('02) 情報システム科学('02) 芸術文化政策 ('02) 生涯学習論('02)	地域文化研究 ('02) 健康科学('02) 都市計画論('02) 学校臨床心理学('02)
2 10:25 }	総合人間学('02) 複雑システム科学('02) 福祉政策 ('02) 情報教育論('02)	日本文化研究('02) 経営システム ('02) 教育文化論('02) 社会心理学特論('02)
3 11:35 }	言語文化研究 ('02) 地球環境科学('02) 福祉政策 ('02) 才能教育論('02)	比較文化研究('02) 経営システム ('02) 教育経営論('02) 家族心理学特論('02)
4 13:15 }	言語文化研究 ('02) 物質環境科学 ('02) 法システム ('02) 逸脱行動論('02)	文化人類学研究('02) 経済政策 ('02) 学校システム論('02) 精神医学('02)
5 14:25 }	表象文化研究('02) 生命環境科学 ('02) 法システム ('02) 臨床心理学特論('02)	国際関係論('02) 経済政策 ('02) 教育課程編成論('02) 認知行動科学('02)
6 15:35 }	情報化社会研究('02) 生命環境科学 ('02) 法システム ('02) 学校臨床社会学('03) 臨床心理面接特論('02)	国際社会研究 ('02) 物質環境科学 ('03) 地方自治政策 ('02) 認知過程研究('02)
7 16:45 }	地域文化研究 ('02) 生活科学 ('02) 技術社会関係論('02) 道徳性形成論('03) 心理学研究法特論('02)	国際社会研究 ('02) 地方自治政策 ('02) 環境工学('03) 教授・学習過程論('02)
8 17:55 }	地域文化研究 ('02) 生活科学 ('02) 環境マネジメント('02) 発達心理学('02)	数理システム科学('02) 芸術文化政策 ('02) 現代身体教育論('02) コミュニティ・アプローチ特論('03)

(第2学期)

	平成16年1月30日(金)	平成16年1月31日(土)
1 9:15 }	国際関係論('02) 経済政策 ('02) 教育課程編成論('02) 認知行動科学('02)	表象文化研究('02) 生命環境科学 ('02) 法システム ('02) 臨床心理学特論('02)
2 10:25 }	国際社会研究 ('02) 物質環境科学 ('03) 地方自治政策 ('02) 認知過程研究('02)	情報化社会研究('02) 生命環境科学 ('02) 法システム ('02) 学校臨床社会学('03) 臨床心理面接特論('02)
3 11:35 }	国際社会研究 ('02) 地方自治政策 ('02) 環境工学('03) 教授・学習過程論('02)	地域文化研究 ('02) 生活科学 ('02) 技術社会関係論('02) 道徳性形成論('03) 心理学研究法特論('02)
4 13:15 }	数理システム科学('02) 芸術文化政策 ('02) 現代身体教育論('02) コミュニティ・アプローチ特論('03)	地域文化研究 ('02) 生活科学 ('02) 環境マネジメント('02) 発達心理学('02)
5 14:25 }	地域文化研究 ('02) 健康科学('02) 都市計画論('02) 学校臨床心理学('02)	総合情報学('02) 情報システム科学('02) 芸術文化政策 ('02) 生涯学習論('02)
6 15:35 }	日本文化研究('02) 経営システム ('02) 教育文化論('02) 社会心理学特論('02)	総合人間学('02) 複雑システム科学('02) 福祉政策 ('02) 情報教育論('02)
7 16:45 }	比較文化研究('02) 経営システム ('02) 教育経営論('02) 家族心理学特論('02)	言語文化研究 ('02) 地球環境科学('02) 福祉政策 ('02) 才能教育論('02)
8 17:55 }	文化人類学研究('02) 経済政策 ('02) 学校システム論('02) 精神医学('02)	言語文化研究 ('02) 物質環境科学 ('02) 法システム ('02) 逸脱行動論('02)

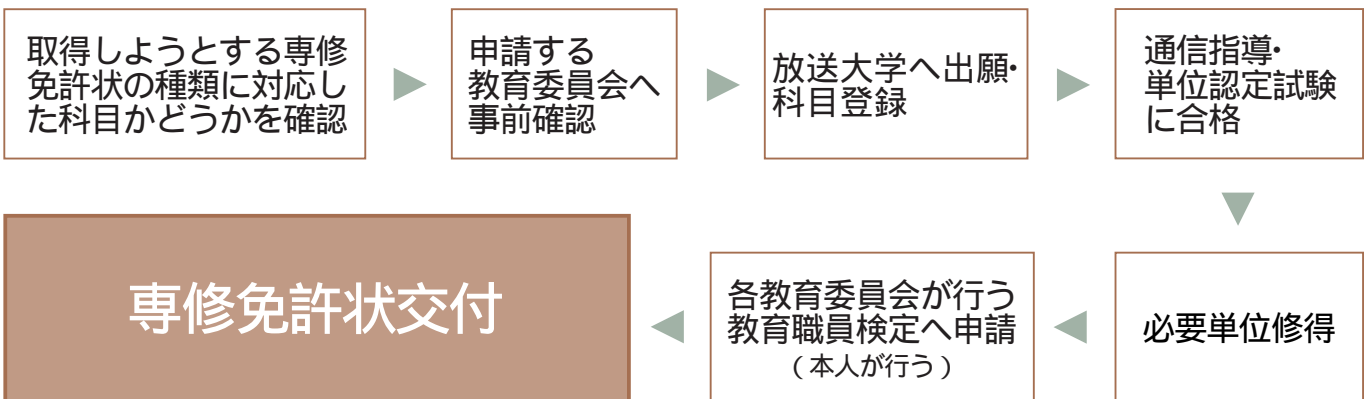
専修免許状取得を希望している現職教員の方等へ

ご自身の取得しようとする専修免許状の種類と、現在履修している科目が対応しているかも一度確認して下さい。

また、取得すべき単位等の条件は各都道府県教育委員会により異なる場合がありますので、ご自身で必ず確認をしていただく必要があります。

対応科目は、本学作成の冊子「教員免許状及び各種資格について」及び「平成15年度第1学期学生募集要項(修士科目生)」に同封の「放送大学大学院を利用した専修免許状の取得」で確認できるほか、本学のホームページでも確認できます。

< 専修免許状取得までの流れ >



教養学部単位認定試験時間割

7月27日(日)	7月28日(月)	7月29日(火)	7月30日(水)
社会調査の基礎('01) 生涯学習と自己実現('02) 日本政治思想史('01) 自己を見つめる('02) ドイツの言語文化('02) (道徳教育('99)) (徒然草の遠景('98))		政治学入門('03) 労働と生活の心理学('01) 経済学史入門('01) 現代の哲学('01) 日本の散文 - 古典編('03) 東南アジアの歴史('02) 芸術の理論と歴史('02) (商法('99))	老年期の心理と病理('02) 環境社会学('03) 古代日本の歴史('01) イギリス文学('03) (宗教への招待('99)) (ジェンダーの社会学('99))
近代哲学の射程('03) 社会学入門('01) 家庭・学校と地域社会('00) 学習科学とテクノロジー('03) 現代の行政('00) 中国明清時代の文学('01) 東アジアの中の中国史('03) フランスの言語文化('02) (心理測定法('98)) (美と詩の哲学('99))		生涯発達心理学('02) 日本の法システム('00) 欧米経済史('99) 宗教の哲学('00) 中世日本の歴史('03) 現代における伝統演劇('02) (日本の近世('98))	近代詩歌の歴史('99) カウンセリング概説('01) ヨーロッパの歴史('01) (現代社会の学力('99)) (環境社会学('99))
立憲主義と日本国憲法('01) 現代社会と著作権('02) 教育の歴史('00) 教育の中の言葉('99) 比較政治学('00) 老荘思想('00) 博物館概論('03) 中国の言語文化('02) (書誌学('99))		舞台芸術の現在('00) 知覚心理学('01) 経済法('00) 産業社会と消費社会の現代('03) 近世の日本文学('03) 近世日本の歴史('03) イメージの歴史('00) (金融論('99)) (ギリシャ哲学('99)) (日本の中世('98))	国文学入門('00) 共生の時代を生きる('00) 近代の教育思想('03) 心理臨床の世界('03) ヘーゲルを読む('03) (国際化と教育('99)) (臨床心理学概説('99)) (雇用と法('99)) (逸脱の社会学('98))
英語 ('03) 英語 ('02) 英語 ('01) ドイツ語 ('02) フランス語 ('02) 中国語 ('01) 韓国語 ('02)	休日	現代生活論('00) 臨床心理学概説('03) 刑法('01) 上代の日本文学('00) 南アジアの文化を学ぶ('00) (児童の臨床心理('98)) (政治過程の比較分析('99))	教育心理学通論('01) 乳幼児心理学('02) 雇用・福祉・家族と法('03) メディア論('01) 古典古代の歴史('00) 博物館資料論('00) (日本経済史('99))
英語 ('03) ドイツ語 ('02) フランス語 ('02) 中国語 ('00) ロシア語 ('01) 韓国語 ('02) 日本語 ('03) - 外国語としての - 保健体育('01) (英語 ('99))	休日	近代日本における外国文学の受容('03) 教育社会学('03) 心理学研究法('03) 現代日本の政治('03) 自然と文化の記号論('02) 近代の日本文学('01) アメリカの歴史('00) 芸術・文化・社会('03) (メディアと教育('99)) (児童心理学('98)) (現代日本の政治変動('99))	教育の方法('99) 認知科学('00) 現代精神分析学('00) 現代経済学('01) 都市社会の人間関係('00) 書誌学('03) 19世紀日本の歴史('00) (博物館概論('99))
国語学概論('02) 国際化と教育('03) ユング心理学('03) 発達障害児の心と行動('02) 財政学('00) 日本経済史('03) ヨーロッパと近代世界('01) 博物館経営・情報論('00) (社会心理学 - アジア的視点から -) (家族法('98))		歴史学の現在('01) 法学入門('00) 発達と学習('00) 国際政治('00) ギリシャ哲学('03) 応用音楽学('00) ギリシャ・ローマ文学('00) (教育社会学('98)) (近世の日本文学('98))	アーツ・マネジメント('02) 教育の政治経済学('00) 人格心理学('00) ヨーロッパ政治史('01) 日本語の歴史('01) (現代法の諸相('99)) (西洋近世哲学史('99))
倫理思想の源流('01) 比較教育制度論('03) 学習の心理学('00) 障害児教育指導法('02) 市民生活と行政法('02) 国際経済学('01) 朝鮮の歴史と社会('00)		現代人のための哲学('00) 教育の哲学('03) 子どもと若者の文化('01) 教育評価('03) 商法('03) 西洋音楽の歴史('01) ドイツ文学('03) (政治学入門('00)) (生徒指導('99)) (都市空間の比較社会学('99)) (フランスの文学('98))	心理学初歩('02) 国際関係法('02) 西洋政治思想史('01) 現象学入門('00) 中世日本文学の風景('00) (近代の教育思想('98))
人間科学の可能性('03) 現代アメリカ思想('01) 障害児教育論('02) 法と裁判('00) ジェンダーの社会学('03) ドイツ観念論への招待('03) (言語発達心理学('98)) (中国の歴史と社会('98))		経済学入門('00) 児童の臨床心理('03) 生徒指導('03) 日本政治史 - 20世紀の日本政治('03) コミュニティ論('02) 日本音楽の基礎概念('00) フランス文学('03) (日本の文化と思想('98)) (幼児教育の社会学('98)) (教育評価('99)) (言語学('99)) (ドイツ文学('98))	感情と認知('03) 紛争と民法('02) 第三世界の政治('01) 仏教思想('01) 平安朝の文学('01) 文化人類学('00) (フロンティア人間科学('98)) (現代日本の教育課題('99))

教養学部単位認定試験時間割

8

平成15年度第1学期

	7月24日(木)	7月25日(金)	7月26日(土)
1 9:15~10:05	人体の構造と機能(01) 計算科学(03) 地域福祉論(03) (物理・化学通史(99)) (生産性科学入門(99))	宇宙像の変遷と人間(00) 実験科学の方法(02) 現代生物学(00) 公衆衛生(01) マスメディア論(03) 情報工学と社会(01) 物質の科学・量子化学(03) (生活文化史(98)) (都市・地域経営(99))	生物学の歴史(01) 現代社会におけるライフコース(03) 患者からみた医療(03) 経営工学総論(00) 産業人間工学(00) 流体的地球像(03) (微積分入門 (99)) (日本人口論 - 高齢化と人口問題 -) (地域と食文化(99))
2 10:25~11:15	疾病の成立と回復促進(01) 技術の分析と創造(02) 天体物理学入門(03) (物質の科学と技術開発(99))	宇宙とその歴史(00) 東アジア・東南アジアの住文化(03) リハビリテーション(03) 産業と労使(03) 持続的発展と国際協力(03) 量子力学(01) (生活学入門 - 日常生活の探求 -) (医療・社会・倫理(99)) (企業の経済学(99)) (発展途上国の開発戦略(99))	物理の世界(03) 世界の食糧問題とフードシステム(03) 簿記入門(02) 都市システム工学(03) 多変数の微積分(03) 光と電磁場(01) (数学の歴史) (近代社会と人生経験(99)) (調理とおいしさの科学(98)) (エネルギー工学と社会(99)) (太陽系の科学(99))
3 11:35~12:25	看護学概説(01) 高齢者福祉論(03) イノベーション経営(01) 数学とコンピュータ(03) 物質の科学・反応と物性(99) (高齢者福祉(99)) (日本列島の地球科学(99))	地球とその歴史(00) 脳の健康科学(02) 現代ファイナンス入門(00) ネットワーク産業論(00) (物理の世界(99))	確率と統計(01) 都市と人間(03) 生活の経営(01) 食生活をめぐる諸問題(00) 社会の中の会計(00) 光と物質(00) 宇宙の進化(01) (情報工学(99))
4 13:15~14:05	基礎生物学(03) 使える数理リテラシー(03) 食物とからだ(00) 現代産業組織論(01) エネルギー工学と社会(03) 微生物機能に学ぶ化学(01) (消費者問題の展開と対応) (産業と労使の関係(99)) (21世紀への技術発展(99)) (応用数学(99))	家族論(01) 循環器科学(00) マーケティング論(99)	英語 (03) フランス語 (02) 中国語 (01) スペイン語 (03) 日本語 (02) - 外国語としての - (英語 (98)) (英語 (99)) (スペイン語 (99))
5 14:25~15:15	数学の歴史(03) 科学の思想と論理(01) 中小企業の挑戦(03) 母子の健康科学(00) ベンチャー企業論(01) 現象の数理(03) 日本列島の地球科学(03) (生活と地球社会(99)) (基礎生物学(98)) (パソコンによる解析学(99))	持続可能な消費と生活者(03) 科学・技術と社会(03) 日本法文化の形成(03) 生活者の経済(00) 住計画論(02) 情報産業論(00) プログラミング入門(00) 物質の科学・有機高分子(02) (日本の自然(98)) (数学基礎論(99))	英語 (01) ドイツ語 (02) ロシア語 (01) スペイン語 (03) (スペイン語 (98))
6 15:35~16:25	線型代数 (00) 食品の成分と機能(03) 公的扶助(02) 身体福祉論(03) 物性物理学入門(00) 宇宙の観測(01) (現代日本の地方自治(99)) (こころの健康科学(99)) (管理会計(99))	ゲノム生物学(03) 家族と生活ストレス(00) 電子技術と社会(00) 数学基礎論(03) 多様性の生物学(03) エネルギーと熱(03) (日本における集合住宅計画の変遷) (計算の理論(99)) (物質の科学・量子化学(98))	社会福祉入門(00) 薬の歴史・開発・使用(00) 人間と自然(03) データの科学(01) 動物の行動と社会(00) (大地と人間 - 食・農・環境の未来)
7 16:45~17:35	初等微分積分学(02) 着ごちの追究(99) 障害者福祉(01) 環境アセスメント(00) 運動と力(01) 分子生物学(01)	次世代育成を考える(03) 科学と技術の歴史(99) 集団と環境の生物学(03) 年金・医療保険論(00) 設計学(00) カオス学入門(01) (世界の住まいと暮らし(99)) (物質の科学・分析(98)) (生物の進化と多様性(99))	日米欧の企業経営(01) 変動する社会と暮らし(02) がんの健康科学(01) アグリビジネス(02) 解析学(00) 植物の生理(00)
8 17:55~18:45	線型代数入門(03) 物質の世界 - 化学入門(02) 現代社会とスポーツ(01) 衣生活の科学(02) 経営学(03) 管理会計(03) 都市と生活空間の工学(00) (線型代数 (99)) (地域福祉(99)) (細胞生物学(98))	情報基礎管理学(00) 現代モード論(00) 児童家庭福祉(03) 材料工学と社会(01) 統計の考え方(00) 相対論(99) (人間の生物学(99)) (子ども家庭福祉論(98))	比較技術の文明論(02) 高齢者の心と身体(00) 社会福祉の国際比較(02) バイオテクノロジー(01) 物質の科学・有機構造解析(03) 細胞生物学(03) (生態学(99))

(注) ()の科目は、平成14年度末で閉講される科目ですから、再試験者が受験対象となり、第1学期のみ実施します。

平成15年度教養学部開設改訂科目一覧

区分等		科目名	単位数	メディア	主任講師	現職等	再履修の可否	改訂前の科目	
共通科目	基幹科目	計算科学('03)	2	TV	杉本大一郎	放送大学教授			
		日本法文化の形成('03)	2	TV	六本佳平	放送大学教授			
		使える数理リテラシー('03)	2	R	杉本大一郎	放送大学教授			
	主題科目	ゲノム生物学('03)	2	TV	岩槻邦男 近藤喜代太郎	放送大学教授 放送大学教授			
		都市と人間('03)	2	TV	倉沢 進 香山壽夫 伊藤貞夫	放送大学教授 放送大学教授 放送大学教授			
		中小企業の挑戦('03)	2	TV	神代和欣 中島尚正	放送大学教授 放送大学教授			
	一般科目	人文系	次世代育成を考える('03)	2	R	原 ひろ子	放送大学教授	可	生活学入門-日常生活の探求-
			持続可能な消費と生活者('03)	2	R	原 ひろ子 小澤紀美子	放送大学教授 東京学芸大学教授	可	生活と地球社会('99)
			人間科学の可能性('03)	2	TV	中島義明 太田裕彦	大阪大学教授 関西国際大学教授	可	フロンティア人間科学('98)
			近代哲学の射程('03)	2	R	円谷裕二	九州大学大学院教授	可	宗教への招待('99)
			近代日本における外国文学の受容('03)	2	R	山内久明 川本皓嗣	放送大学教授 大手前大学教授		
		社会系	政治学入門('03)	2	TV	阿部 齊 久保文明 山岡龍一	放送大学教授 慶應義塾大学教授 放送大学助教授	否	政治学入門('00)
			自然系	数学の歴史('03)	2	R	長岡亮介	放送大学教授	否
		線型代数入門('03)		2	TV	長岡亮介	放送大学教授	否	線型代数('99)
		物理の世界('03)		2	TV	生井澤寛 波田野彰	帝京平成大学教授 帝京平成大学教授	可	物理の世界('99)
		科学・技術と社会('03)		2	R	池内 了	名古屋大学教授		
		基礎生物学('03)		2	TV	岩槻邦男 石川 統	放送大学教授 放送大学教授	可	基礎生物学('98)
		集団と環境の生物学('03)		2	TV	松本忠夫	東京大学教授	可	生態学('99)
		外国語	英語('03)	2	R	大橋理枝	放送大学助教授	否	英語('98)
			英語('03)	2	TV	斎藤兆史 大橋理枝	東京大学大学院助教授 放送大学助教授	可	英語('99)
			英語('03)	2	R	成田篤彦 高田康成	埼玉工業大学教授 東京大学教授	可	英語('99)
			スペイン語('03)	2	R	上田博人	東京大学教授	否	スペイン語('99)
			スペイン語('03)	2	R	上田博人	東京大学教授	否	スペイン語('98)
	日本語('03)		2	R	姫野昌子 伊東祐郎	放送大学教授 東京外国語大学教授			

区 専	分 攻 等	科 目 名	単 位 数	メ デ ィ ア	主 任 講 師	現 職 等	再履修 の可否	改 訂 前 の 科 目
専 門 科 目	生活と福祉	現代社会におけるライフコース('03)	2	R	安藤由美	琉球大学教授	可	近代社会と人生経験('99)
		世界の食糧問題とフードシステム('03)	2	R	時子山ひろみ 荏開津典生	日本女子大学教授 千葉経済大学教授	可	地域と食文化('99)
		食品の成分と機能('03)	2	TV	上野川修一 今井悦子	東京大学教授 聖徳大学教授	可	調理とおいしさの科学('98)
		東アジア・東南アジアの住文化('03)	2	TV	藤井 明 畑 聡一	東京大学教授 芝浦工業大学教授	可	世界の住まいと暮らし('99)
		患者からみた医療('03)	2	R	高柳和江 仙波純一	日本医科大学助教 放送大学教授	可	こころの健康科学('99)
		リハビリテーション('03)	2	R	眞野行生 近藤喜代太郎	北海道大学教授 放送大学教授		
		児童家庭福祉('03)	2	R	庄司洋子 松原康雄	立教大学教授 明治学院大学教授	否	子ども家庭福祉論('98)
		高齢者福祉論('03)	2	TV	浅野 仁 栃本一三郎	関西学院大学教授 上智大学助教	否	高齢者福祉('99)
		地域福祉論('03)	2	R	牧里每治	関西学院大学教授	否	地域福祉('99)
		身体福祉論('03)	2	TV	宮下充正 臼井永男	放送大学教授 放送大学助教		
	発達と教育	教育の哲学('03)	2	R	小笠原道雄	放送大学教授	可	幼児教育の社会学('98)
		近代の教育思想('03)	2	R	宮澤康人	放送大学教授	否	近代の教育思想('98)
		教育社会学('03)	2	TV	岩永雅也 稲垣恭子	放送大学教授 京都大学大学院助教	否	教育社会学('98)
		国際化と教育('03)	2	R	佐藤郡衛	東京学芸大学教授	否	国際化と教育('99)
		比較教育制度論('03)	2	R	新井郁男 二宮 皓	放送大学教授 広島大学教授		
		学習科学とテクノロジー('03)	2	TV	三宅なほみ	中京大学教授	可	メディアと教育('99)
		感情と認知('03)	2	R	波多野誼余夫 高橋恵子	放送大学教授 聖心女子大学教授	可	言語発達心理学('98)
		臨床心理学概説('03)	2	R	馬場禮子	東亜大学大学院教授	否	臨床心理学概説('99)
		児童の臨床心理('03)	2	R	松村茂治	東京学芸大学教授	否	児童の臨床心理('98)
		心理臨床の世界('03)	2	TV	滝口俊子 桑原知子	放送大学教授 京都大学大学院助教		
		ユング心理学('03)	2	R	大場 登	放送大学教授		
		心理学研究法('03)	2	TV	南風原朝和 市川伸一 下山晴彦	東京大学教授 東京大学教授 東京大学助教	可	心理測定法('98)
		生徒指導('03)	2	TV	秦 政春	大阪大学大学院教授	否	生徒指導('99)
		教育評価('03)	2	R	梶田叡一	京都ノートルダム女子大学長	否	教育評価('99)
	社会と経済	雇用・福祉・家族と法('03)	2	TV	山口浩一郎 大村敦志 菊池馨実	放送大学教授 東京大学教授 早稲田大学教授	可	雇用と法('99)
		商法('03)	2	R	落合誠一	東京大学教授	否	商法('99)
		現代日本の政治('03)	2	TV	山口二郎 杉田 敦	北海道大学教授 法政大学教授	否	現代日本の政治変動('99)
		日本政治史 - 20世紀の日本政治('03)	2	TV	天川 晃 御厨 貴	放送大学教授 政策研究大学院大学教授	可	現代アメリカの政治

区 専	分 攻 等	科 目 名	単 位 数	メ デ ィ ア	主 任 講 師	現 職 等	再履修 の可否	改 訂 前 の 科 目
専 門 科 目	社会と経済	産業社会と消費社会の現代('03)	2	TV	坂井素思	放送大学助教	可	金融論('99)
		日本経済史('03)	2	R	山崎志郎	東京都立大学教授	否	日本経済史('99)
		ジェンダーの社会学('03)	2	R	江原由美子 山田昌弘	東京都立大学教授 東京学芸大学助教	否	ジェンダーの社会学('99)
		環境社会学('03)	2	TV	船橋晴俊 宮内泰介	法政大学教授 北海道大学大学院助教	可	環境社会学('99)
	産業と技術	経営学('03)	2	TV	佐々木弘 奥林康司	放送大学教授 神戸大学大学院教授	否	経営学入門('98)
		産業と労使('03)	2	TV	神代和欣	放送大学教授	否	産業と労使の関係('99)
		管理会計('03)	2	R	佐藤紘光 齋藤正章	早稲田大学教授 放送大学助教	否	管理会計('99)
		人間と自然('03)	2	TV	祖田 修 八木宏典	京都大学教授 東京大学教授	否	大地と人間 - 食・農・環境の未来
		持続的発展と国際協力('03)	2	R	河合明宣 浜口恒夫	放送大学助教 大阪外国語大学教授	否	発展途上国の開発戦略('99)
		都市システム工学('03)	2	TV	林 亜夫 阪本一郎	明海大学教授 明海大学教授	可	都市・地域経営('99)
		マスメディア論('03)	2	R	柏倉康夫 萩野弘巳 小室広佐子	放送大学教授 長崎シーボルト大学教授 東京国際大学助教		
		エネルギー工学と社会('03)	2	TV	内山洋司	筑波大学教授	否	エネルギー工学と社会('99)
	人間の探究	ギリシャ哲学('03)	2	R	天野正幸	東京大学教授	否	ギリシャ哲学('99)
		ドイツ観念論への招待('03)	2	R	久保陽一	駒澤大学教授	可	西洋近世哲学史('99)
		ヘーゲルを読む('03)	2	TV	高山 守	東京大学教授	可	美と詩の哲学('99)
		書誌学('03)	2	TV	杉浦克己	放送大学助教	否	書誌学('99)
		日本の散文 - 古典編('03)	2	R	三角洋一 松尾葦江 島内裕子	東京大学教授 國學院大学教授 放送大学助教	可	徒然草の遠景('98)
		近世の日本文学('03)	2	R	長島弘明 清登典子	東京大学教授 筑波大学助教	否	近世の日本文学('98)
		中世日本の歴史('03)	2	TV	五味文彦 本郷和人	東京大学教授 東京大学助教	可	日本の中世('98)
		近世日本の歴史('03)	2	R	高木昭作 杉森哲也	放送大学教授 放送大学助教	可	日本の近世('98)
		東アジアの中の中国史('03)	2	R	浜口允子 岸本美緒	放送大学教授 東京大学教授	可	中国の歴史と社会('98)
		芸術・文化・社会('03)	2	TV	徳丸吉彦 青山昌文	放送大学教授 放送大学助教		
		博物館概論('03)	2	TV	石森秀三	国立民族学博物館教授	否	博物館概論('99)
		イギリス文学('03)	2	R	山内久明 高田康成 高橋和久	放送大学教授 東京大学大学院教授 東京大学大学院教授	可	イギリス文学('98)
		ドイツ文学('03)	2	R	保坂一夫	日本大学教授	可	ドイツ文学('98)
		フランス文学('03)	2	R	渡邊守章 柏倉康夫 石井洋二郎	放送大学副学長 放送大学教授 東京大学教授	可	フランスの文学('98)

区 専攻等		科 目 名	単 位 数	メディア	主任講師	現 職 等	再履修 の可否	改訂前の科目
専 門 科 目	自然の理解	現象の数理('03)	2	R	岡本 久	京都大学教授	可	応用数学('99)
		数学基礎論('03)	2	R	隈部正博	放送大学助教授	否	数学基礎論('99)
		数学とコンピュータ('03)	2	TV	森本光生 長岡亮介	国際基督教大学教授 放送大学教授	可	パソコンによる解析学('99)
		多変数の微積分('03)	2	TV	熊原啓作	放送大学教授	可	微積分入門('99)
		物質の科学・量子化学('03)	2	TV	平尾公彦 濱田嘉昭	東京大学教授 放送大学助教授	否	物質の科学・量子化学('98)
		物質の科学・有機構造解析('03)	2	TV	岩村 秀 山口健太郎	放送大学教授 千葉大学助教授	可	物質の科学・分析('98)
		多様性の生物学('03)	2	TV	岩槻邦男	放送大学教授	可	生物の進化と多様性('99)
		細胞生物学('03)	2	TV	永田和宏 森 正敬 河野憲二	京都大学教授 熊本大学教授 奈良先端科学技術大学院 大学教授	可	細胞生物学('98)
		日本列島の地球科学('03)	2	TV	濱田隆士 福田正己	放送大学教授 北海道大学教授	否	日本列島の地球科学('99)
		エネルギーと熱('03)	2	TV	岡部 豊 堂寺知成	東京都立大学教授 放送大学助教授	否	エネルギーと熱('98)
		流体的地球像('03)	2	TV	濱田隆士 福田正己	放送大学教授 北海道大学教授	可	固体地球
		天体物理学入門('03)	2	R	吉岡一男	放送大学助教授	否	天体物理学入門

(注)1「メディア」欄のTVはテレビ、Rはラジオです。
2「現職等」は、平成14年9月現在のものです。
3「改訂前の科目」(平成13年度末以前に閉講になった科目を除く)及び以下の科目は、平成14年度末で閉講となります。
生活文化史('98)日本の文化と思想('98)物理・化学通史('99)人間の生物学('99)日本の自然('98)現代日本の教育課題('99)現代日本の地方自治('99)地球環境を考える('99)消費者問題の展開と対応、日本人口論 - 高齢化と人口問題 -、日本における集合住宅計画の変遷、医療・社会・倫理('99)道徳教育('99)現代社会の学力('99)児童心理学('98)社会心理学 - アジア的視点から -、家族法('98)現代法の諸相('99)政治過程の比較分析('99)逸脱の社会学('98)都市空間の比較社会学('99)生産性科学入門('99)企業の経済学('99)情報工学('99)21世紀への技術発展('99)言語学('99)計算の理論('99)太陽系の科学('99)

平成15年度大学院開設科目一覧

区 分	科 目 名	単 位 数	メディア	主任講師	現 職 等
総合文化プログラム (環境システム科学群)	物質環境科学('03)	2	TV	中山正敏	放送大学教授
政策経営プログラム	環境工学('03)	2	TV	鈴木基之	国連大学副学長
教育開発プログラム	学校臨床社会学('03)	2	R	苅谷剛彦 志水宏吉	東京大学大学院教授 東京大学大学院助教授
	道徳性形成論('03)	2	R	大西文行	横浜市立大学教授
臨床心理プログラム	コミュニティ・アプローチ特論('03)	2	R	村山正治	東亜大学教授

(注)「メディア」欄のTVはテレビ、Rはラジオです。

平成15年度教養学部開設科目紹介

計算科学('03)

基幹科目・共通科目の一つ。これは「計算機の科学」ではなく、「計算という手法を使って科学を進める」ことを主題とする。

科学研究に計算機を使い始めたのは1960年代初頭である。その頃はまだ「計算機なんぞを使った研究は、実験や理論に比べると次元が低い」とからかわれた。それが今では、計算機実験とシミュレーションは、科学研究の方法として実験と理論に並ぶ第3のパラダイムに成長した。

そうなったのは、計算機の進歩もさることながら、現実の世界には計算科学の方法を駆使しないと研究出来ないシステムが多いから

である。いくつかの要素が強く影響を及ぼし合っているシステムの多くは、数学で非線形と呼ばれるものになるが、それを数式の演算で扱う体系はない。また地球環境問題に代表されるように、多くの要素が複雑に絡まり合った複雑なシステムも多い。それらは計算機なしには解きほぐせない。こうして計算科学は研究のフロントを大いに拡大した。この講義は、フロントがどのように広がったかを見て計算科学の意義を考えるというものなので、文科系専攻の人にも見ていただきたい。話題は素粒子から宇宙まで。生命の基礎になるタンパク質や、地球環境の問題も

自然の理解 教授 杉本大一郎

含まれる。制作にあたっては、数10人の研究者に研究の現場で協力していただいた。このようなテーマは既存の科目体系には納まらない。基幹科目として採用していただいたゆえんである。



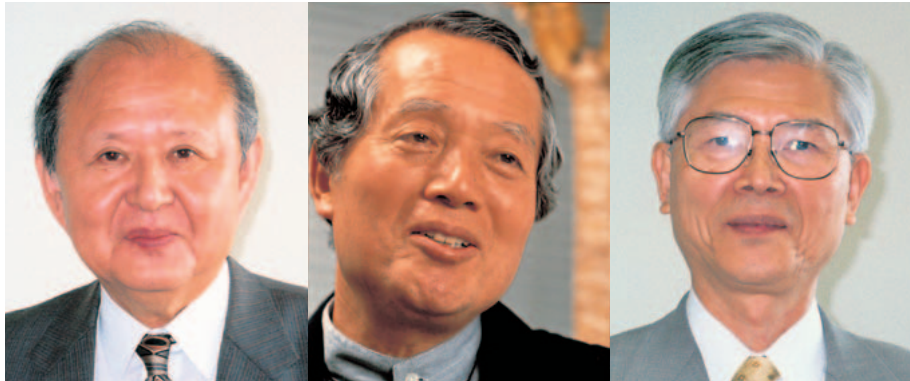
世界最大の計算機「地球シミュレータ」取材中の杉本教授（左）横浜市、地球シミュレーターセンターにて。

都市と人間('03)

都市の歴史は、人類の文明の歴史と同じ位長いものがあります。この科目は、このような都市と人間の長いつき合いを頭において、世界各地に、さまざまな時代に成立した、都市と人間生活の関係を考察しようというものです。私たちは都市と言えば七色の煙に象徴される、工業が盛んな処というイメージを持ってきました。しかしそのタイプの都市、工業都市は、都市の長い歴史の中で僅々二百年の歴史しかありません。都市は古今東西、さまざまな形でたち現れました。それは都市とは、という一般化を、安易には許さないほどの、多様性を示すのです。都市が人間の知識と情報の生産と流通の場であったがゆえに、それを育む文化と社会の多様性を反映していることが重要です。

この科目は放送大学の複数の専攻に属する教員の、共同作品として作られました。歴史学、文学、社会学、政治学、都市工学、それぞれの専門が持つ固有の異なる切り口で、時代と地域を異にする都市を見て行こうというのです。学生諸君が、都市、そして人間の文明の多様性と、底にひそむ本質を理解することに、何らかの寄与を

するのではないかという期待を持って、本科目を皆さんに贈ります。古今東西さまざまな都市への夢の旅をお楽しみ下さい。「都市は人間の本性の社会的実験室」と喝破したのは、シカゴ学派都市社会学の父、ロバート・パークでした。



左から、倉沢教授、香山教授、伊藤教授

平成15年度第1学期学生募集

放送大学教養学部・大学院文化科学研究科では、平成15年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。

平成14年11月15日(金)	平成15年度第1学期教養学部、修士科目生学生募集要項配布開始
平成14年12月15日(日)	出願受付(教養学部学生・修士科目生)
~平成15年2月28日(金)	
2月上旬~3月中旬	可否通知等
2月上旬~3月31日(月)	学費の納入
2月中旬~4月中旬	入学許可通知・印刷教材等の配送
4月1日(火)	平成15年度第1学期授業開始

・募集要項(出願書類を含む)は、各地の学習センター、大学本部などで直接配布しているほか、郵送(ハガキ)や放送大学のホームページからも請求できますので、ご利用ください。
募集要項・送料は無料です。

・放送大学では、平成15年4月1日から始まる新学期の学生募集を行います。
・この機会に放送大学に関心をお持ちのご友人、ご親戚他お知り合いの方にご紹介いただき、入学をお薦めくださいますようお願いいたします。
また、平成15年3月末で学籍が切れる方が、平成15年度第1学期以降も引き続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要です。なお、その際は入学料が割引になります。

修士の学位の取得を目指す「大学院修士全科生」の学生募集(年1回)は終了しました。

出願締切日は平成15年2月28日(金) 必着 です。

募集要項請求専用フリーダイヤル 0120-864-600

平成15年度第1学期の科目登録申請について

次学期も引き続き学籍のある在学生を対象に「平成15年度第1学期科目登録申請要項」を1月上旬に送付します。

平成15年度第1学期の放送授業及び面接授業(毎週型・土日型)の科目登録申請期間は次のとおりです。

申請期間

平成15年1月27日(月) [消印] ~ 平成15年2月10日(月) [必着]

1月中旬になっても未着、あるいは紛失等した場合は、大学本部もしくは各学習センターにお問い合わせください。

詳しくは「学生生活の栞」をご覧ください。

平成14年度放送大学卒業式について

平成14年度卒業式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

日時:平成15年3月16日(日) 午前10時30分から

場所:東京ベイN.K.ホール(千葉県浦安市舞浜1-8)

編集後記

放送大学は発展し続けています。そのことを、まず、平成15年度の学部と大学院の単位認定試験の時間割から読み取ってください。次に、平成15年度の開設改訂科目の多様なことと新しい考え方からも読み取ってください。今回は、その中から「計算科学(03)」(基幹科目)と「都市と人間(03)」(主題科目)の二つを紹介しました。それをご覧いただければ、大学の新しい考え方がよくわかるでしょう。放送大学は孤立していません。それを示すのが、1頁から5頁までの報告です。その一つ、持続可能な開発についてのヨハネスブルグサミットの報告は、放送大学が制度として、また教職員と学生が個人として、これからの世界と連携すべき役割を示しています。

(徳丸吉彦)

大学通信編集委員会

(平成14年度)

委員長	教授	阿部 齊
副委員長	同	柏倉康夫
委員	同	徳丸吉彦
〃	助教授	臼井永男
〃	同	坂井素思
〃	同	杉森哲也
〃	同	大橋理枝

(編集事務担当)

教務部修学指導課)



放送大学学園

<http://www.u-air.ac.jp/hp>
ISSN 1343-3369

R100